

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第163号（7． 9． 26） 神出小学校水道のP F A S汚染の早期解決を求める陳情
陳 情 の 要 旨	①P F A S汚染の汚染源を早期に特定し、対策を講じること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市西区 新日本婦人の会 神戸西支部 事務局長 萬年 ルミ
送 付 委 員 会	福祉環境委員会

2025年9月26日

陳情者 神戸市西区

新日本婦人の会 神戸西支部

事務局長 萬年 ルミ



神出小学校水道の PFAS 汚染早期解決を求める陳情書

陳情趣旨

日ごろは学校教育、神戸市児童生徒の教育環境向上へのご尽力に感謝します。

PFAS については、成人・小児の抗体反応低下や、脂質異常症、幼児及び胎児の成長低下(低体重児出生)、腎臓癌リスク増加(成人)などが上げられています。日本でも PFAS が検出された水道水を飲み続けたヒトの血液検査で高濃度 PFAS 値検出が報道されています。

明石川の有機フッ素化合物、PFAS による汚染については多くの市民が汚染水排出元を早く特定し、排出をストップさせ、流域の環境が守られることを求めています。

先ごろ西区神出町田井の簡易水道から基準値を超える PFAS が検出され、神出町田井地域住民に対し各家庭においては飲用を控える注意喚起文書が配布されました。また、神出小学校の児童(保護者)に対しては、「すぐーる」により情報提供がされ水筒持参をするなど注意が促され、住民や、保護者の間で不安が広がっています。

神出小学校では活性炭使用の浄水器を設置して濃度軽減ができ、給食もスタートできているようですが、浄水器を通すことで大鍋いっばいに水を入れるのに通常以上の時間がかかり、給食調理にも負担がかかっています。

また、子どもたちはこれまでの2倍以上の水筒を持参せねばならず、低学年の児童にとってはまだ暑さ厳しい通学時に重い水筒を持って歩かねばならず熱中症の心配があります。各家庭では飲み水の確保、浄水器設置費用など、保護者にとっても大きな負担となっています。

住民、子どもたちに安全な水を提供できるよう一刻も早い対策を求めます。

陳情事項

を早期に特定し、対策を講じて下さい。

- ① PFAS 汚染の汚染源が特定できるように他局との連携を強めてください。
- ② 神出小学校における簡易水道から神戸市水道への切り替えを早急に行ってください。
- ③ 神出小学校の児童・生徒の健康を守るため PFAS 血中濃度を検査してください。

教育こども委員会所管分は
陳情第 162 号

福祉環境委員会所管分は
陳情第 163 号